



タンネウシはアイヌ語で「長い・木の・群生しているところ」。博物館付近の地名です

## 開館40周年記念もちつき大会

博物館は今年で40年目を迎えます。長い間みなさまに親しまれてきた開館記念のもちつきを今年も行います。老若男女を問わず、今年の締めと来年への期待を込め日本の伝統行事であるもちつきに参加しませんか。▶日時：12月28日(金) 10:00～11:30▶場所：博物館前庭▶参加費：無料(要申込み、協力会員優先受付)▶定員：60名▶協力：知床博物館協力会



## 開館40周年記念特別展「丘に眠るオホーツク文化」

国指定の史跡になると話題のチャシコツ岬上遺跡、この遺跡では1,200年前、オホーツク文化の人々が暮らしていました。斜里町はもちろん、日本の歴史を語る上でも重要であると明らかになったこの遺跡と出土遺物、そしてオホーツク文化を紹介する特別展です。▶期間：開催中(2019年1月20日(日)まで)▶場所：交流記念館ホール▶記念品：毎週日曜日に先着10名様に特別展

オリジナルのマスキングテープをプレゼント。※特別展のみの観覧は無料です。



## 冬の星空と彗星観測会

12月となると夜は氷点下の厳寒ですが、がんばって星空を観察します。オリオン座大星雲やアンドロメダ大星雲などのほか、運が良ければ彗星(ウィルタネン彗星)が見られるかもしれません。▶日時：12月8日(土)、悪天の場合は9日(日)に延期。18:00～19:00▶場所：博物館前庭集合▶持ち物：十分な防寒着(帽子、手袋など)とあれば寝袋(シュラフ)▶定員：15名、要申込み※小学生以下は保護者同伴



## チャシコツ岬上遺跡が国史跡になります!

斜里町ウトロ西にあるチャシコツ岬は、今から約1,200年前にオホーツク文化の人々が暮らした集落の跡です。切り立った崖の上に31軒の竪穴住居跡や墓、廃棄場などが高密度に築かれ、良好な状態で保存されています。数少ないオホーツク文化終末期の集落跡であり、生活様式の変化や後のトビニタイ文化への変遷を知ることができ、奈良時代の地域文化の多様性がわかるとして国の史跡に指定される見込みです。今後は、遺跡を守り、多くの人に人々に伝えるための取り組みを進めてゆきます。

学芸員のイチオシ

文字の組方ルールブック：ヨコ組編 むかし 作文の授業で、行の最初に句読点を書かないようにと習ったと思います。そういった規則は他にもたくさんあり、この本は横書きで日本語を書くための最低限の規則をしてくれる入門書。文字を扱う全ての人に読んで欲しい。A5判80頁、日本エディタースクール編。(内田)

**休館日** 12月の休館日は、3・10・17(月)、24日(祝)、27日(木)、29日(土)～1月3日(木)の年末年始

**編集後記** 今回初めて編集をしましたが、試行錯誤を重ねいい頭の体操になりました(智)